

平成 26 年度 事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

社会福祉法人 豊生会
三恵保育園

平成26年度 三恵保育園事業報告書

1 保育園の運営

(1)定員 170名

(2)年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

年齢 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	6	7	7	7	9	11	12	12	12	12	12	12	119
1～2歳児	49	5	50	49	50	49	49	49	49	49	49	49	591
3 歳 児	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	431
4歳以上児	74	75	75	75	73	73	73	72	72	72	72	72	878
計	164	168	168	167	168	169	170	169	169	169	169	169	2019

(3)職員数 平成26年度初 30名 平成26年度末 30名

(4)職員の異動

- ①採用 3名
- ②退職 4名
- ③休業 3名(産休・育休)

(5)職員会議等の開催状況

毎月2回開催し、保育当番以外の正規の職員が参加した。臨時職員においては、昼休みに行なわれる2回目の会議に保育の支障のない範囲で参加した。

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、各クラスの様子や保育の確認、行事等の打ち合わせを行ない、必要に応じて反省会を開き今後の課題として話し合った。

また、6月・10月・1月に給食会議を開き、給食室内部の不具合等を話し合い、より作業しやすい環境づくりに努めたり、残飯の量で子どもたちの食べ具合を確認したり、職員の意見を聞き、よりよい献立作りに努力した。アレルギー児においてはその子どもの経過を話し合った。

職員会議、給食会議の内容は、議事録として記録した後、回覧によって出席できなかった職員にも正確に伝わるようにした。

2 保育の実施状況

(1)保育・運営理念

- *子どもたちが「今日も来てよかった。明日も来たいな」と思える保育園
- *保護者が安心して子どもをあずけ、働ける保育園

*地域から「あって良かった」と感じ、言ってもらえる保育園

(2) 保育目標

*温かな雰囲気の中で、互いの命を大切にできる安定した情緒を育てる。

*様々な体験を通して、健康をはぐくみ、興味関心をもち、言葉や創造力を育てる。

*高齢者や友達との関わりを通し道徳性の芽生えを培い、豊かな人間性を育てる。

(3) 保育時間 午前7時30分～午後7時00分

(延長保育時間 午後6時30分～午後7時00分)

(4) 保育内容

◎保育目標に基づき、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるようにした。

◎基本的な生活習慣や集団生活に必要なルールを遊びの中で身につけさせていった。

◎マーチング・体育教室を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い、個々の役割を果たすことで達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。

◎法人内の老人施設との交流において、老人に対するいたわりの心や親切、感謝などの気持ちを持たせていった。

◎食育の一環として、年長児を中心にじゃが芋、さつま芋苗などを育て、収穫した野菜は、昼食やおやつとして調理したものを食べたり、年長児に持ち帰らせたりして食物への関心を深めていった。

おきりこみやもちつきの行事において、給食職員が材料や作り方の手順などを子どもたちに説明することで、より食に対する関心を持たせることができた。

また、生方用務員の栽培によるキャベツ、白菜、ブロッコリー、かき菜などの野菜も昼食材料として収穫された。

◎行事は、年間行事予定に従い行われた。発表会とクリスマス会を別日に設けたり、運動会と発表会には、総練習日を祖父母観覧日(長寿荘・アミカル入居者観覧)としたことで、混雑を避けられたとともに、それぞれがゆっくと楽しむことができた。

保護者会主催によるクリスマス会には、ぐんまちゃんの登場で子どもたちは大喜びした。

◎遠足に参加しない未満児は、豊生会のマイクロバスをお借りして園外保育に出かけ、自然に触れることにより豊かな心を育てるようにした。

◎特別支援児童への対応

発達に心配のある児童については、クラス担任がその子どもの様子を把握した上で、高崎市で行なわれる発達巡回相談を利用して相談し、昨年に続いて臨床発達心理士である久保園敏明先生と発達支援センター職員と共に園児の様子を観察し助言をいただいた。

また、保護者とも懇談する場を設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっ

ていけるよう配慮した。

(5)外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導日及び特記事項
鼓笛指導	稲垣摩美	毎月1回(年長・年中)
		6月の保育参観日には年長の保護者にも鼓笛体験をしていただいた。
体育指導	堤 綾乃	毎週水曜日(年長)・隔週水曜日(年中)
		5/21 及び 2/18 に、年長児対象に運動測定を実施し、「そだちの記録」として成長記録をお知らせした。
英語指導	アレックス・フォン アルテンシュタット	毎週金曜日(年長)
		2月の保育参観日には、指導の様子を保護者にも観ていただいた。

(6)実施した特別保育事業名

- ◎延長保育促進事業
- ◎保育所地域活動事業 世代間交流等事業

3 給食の実施状況

0～2歳児 完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施

乳児については、家庭での離乳食の進行状況にあわせて進めた。

3～5歳児 完全給食に加え、15時のおやつを実施

◎近年、アレルギーを持つ子どもが増え、その種類も様々になってきた。混入や誤食を防ぐため、対象児のお盆や食器を個人個人の専用にし、給食職員だけでなく職員全員が周知したうえで数人による確認を行った。

◎3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。市販のものを利用する場合は、無添加のものを与えた。

◎年齢による咀嚼力の差を考慮しながら、あごの筋肉を鍛えるため噛み応えのあるものを提供した。

◎味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味をいかした薄味にした。

◎入口付近にその日の献立を展示して、保護者にもわかりやすく伝えた。降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。

◎給食職員が一人1回保育室に入って園児と会食をし、会話の中で食に対する意識を高めた。そして、子どもたちの食べる様子を観察することで、その日の献立の反省などをリアルタイムで感じる事ができた。

また、食前食後の挨拶で感謝をしていただくという気持ちをもたせ、みんなで食べる楽

しさを行儀面の意識を高めた。

◎保育参観では、4・5歳児の保護者に試食をしてもらったり、人気のあるメニューのレシピを作成したりして、保護者にも給食に関心を持ってもらった。

◎群馬県健康づくり財団に年2回検体を提出し、7/15には黄色ブドウ球菌を、12/2には大腸菌群の検査を実施。いずれも異常なし。

4 健康管理の実施状況

(1) 児童

①内科健診

年2回(6/18・11/27)園嘱託医による健康診断を実施。健診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

②歯科検診

年1回(6/24)園嘱託医による健康診断を実施。検診当日に欠席した児童は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。

③年1回(6/6提出)、全園児及び全職員がぎょう虫検査を実施。全員異常なし。

④毎月身体測定を行い、計測値はおはようブックの身長体重測定表に記入。

⑤4月初旬から中旬にかけてインフルエンザとロタウィルスが流行り、12月にも再度インフルエンザが流行った。1月13日には10名以上の園児が発症したため、保健所と市役所・嘱託医に報告。発生したクラスには、体温記録表を配布し、おりこうメール等で注意を呼びかけて家庭との連携をとり園児の体調把握に努めた。

⑥市から配布される「ほけんだより」を配布・掲示して、健康管理や感染症などの注意を促した。

(2) 職員

①定期健康診断

日高病院にて、職員が健康診断を7月～8月に実施。

(一般健診対象者が10名、政管生活習慣病予防健診対象者が19名)

②検便

月に1～2回(季節による)、高崎・地域医療センターに依頼し、「赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)」の検査を、給食職員・0歳児担当職員及び緊急時にサポート出来るよう主任保育士と主任事務員が交互に実施。全員異常なし。

③予防接種

ひぐち内科クリニックに依頼して、11月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

5 非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

(1) 避難訓練

*月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難

することの重要性を指導。3歳児については、10月から避難スロープを使用し、2階からの避難訓練を実施した。

*高崎市の補助金により、新入園児分の防災頭巾を購入し、訓練の際には全員が防災頭巾を装着して避難した。

*2月17日には、不審者侵入を想定した訓練を行なった。

*3月10日には北消防署員立会いのもと通報・消火・避難訓練を長寿荘・アマカルと共に実施。職員に対して実際に訓練用水消火器を使つての訓練も行い、避難時や誘導時また消火の際の留意点を再確認することが出来た。

(2)交通安全

高崎市交通地域安全課よる「幼児安全教室」が行われ、交通ルールに関しての指導を受けた。7月29日には、園内ホールにて4・5歳児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

2月26日の交通公園での交通安全教室では、保護者会役員数名と共に年長児38名が交通の決まりに従った歩行練習などの指導を受けた。

6 研修

◎職員の外部研修会への参加状況

26・5・10	保育分科会・給食分科会総会及び講演会	柳澤
19	コーディネーター研修会「明日から使える理論と技法」	相原
6・4	給食従事者研修会「肥満及びやせに該当する者の判定・評価方法」他	松田
9	コーディネーター研修会「気になる子どもの見方・捉え方」	相原
10	プール管理講習会	阿部
10～11	県外視察研修会「幼保連携型認定こども園 こどものもり」他	柳澤
23	障害児保育研修会「障害児に対する福祉制度・発達支援について」他	阿部
27	コーディネーター研修会「保護者支援を考える」	相原
28	民間保育園協議会講演会「0～1歳の発達について」	小野里
7・1～2	夏期職員研修会「たいどうこども園」「東京ディズニーリゾート」視察	金
26	民間保育園協議会講演会「2～3歳の発達について」	土屋・柳澤
29～31	音研宿泊講習会	梁瀬
8・2	実技研修会「明日から使える手遊び・歌あそび」	小池
8	健康・安全研修会「乳幼児の疾病・事故の応急処置」他	田中
26	給食研修会	松田
28	理事長園長研修会「今後の高崎市保育施策の課題について」	山崎
9・6	給食分科会研修会「子どもたちの育ちを支える保育所の食事」	高野
6	民間保育園協議会講演会「4～5歳の発達について」	阿部
8	リーダー的保育士研修会「中堅職員への助言・指導」他	相原
10・7	街頭募金運動	梁瀬

31	新高尾小学校 公開授業	山崎・小池・土屋
11・13	ひよこ保育園 公開保育	山崎・田中・梁瀬
12・10	コーディネータースキルアップ研修会「運動遊びのポイント」	相原
27・1・14	コーディネータースキルアップ研修会「ことばの育ちを考える」	相原
1・26	給食研修会「出かけよう！テーブルマナーを学ぶ」他視察	小野里
2・9	子ども・子育て新制度にかかわる研修会	田中
10	給食担当実務研修会「安心・安全な給食」	松田
17	防火講習会	佐藤益
24	子ども発達支援センター講演会「子どもの発達と健康」	梁瀬
26	保育所施設長研修会「今、保育所に求められる子育て支援」	山崎

7 保育実習生、中学生職場体験等の受け入れ状況

(1) 保育実習生

期 間	学 校 名	氏 名
26・6・30～7・11	中央情報経理専門学校	高橋杏奈
7・22～8・6	東京福祉大学 東京福祉短期大学	嶋崎友里恵 青山瑞希
7・28～8・12	高崎健康福祉大学	荒木香織
8・18～8・30	高崎社会福祉大学 育英短期大学	霜柿亜希 長井文香
9・1～9・17	明和短期大学	好田純平
27・1・19～2・22	群馬社会福祉専門学校	塚田鮎子
2・9～2・24	育英短期大学	矢内友里
2・9～2・25	新島短期大学	大塚視帆
2・16～2・28	群馬医療福祉大学	陸川大海

(2) 職場体験学習

期 間	学校名 ・学年	備 考
26・5・19～5・23	八幡中学校2年生	1名
26・5・26～5・30	中尾中学校2年	4名
26・11・10～11・14	塚沢中学校2年生	2名

(3) ボランティア

26・6・25～ 8:30～13:00	中央情報経理専門学校	高橋杏奈
26・7・8 9:00～16:00	吉井高校	佐藤美紅・金子晶徳
26・7・10～ 16:30～18:30	群馬医療福祉大学	小林明子・欣恵

26・8・4～8・8 9:00～16:00	東高校	小此木梨菜・武者杏奈
26・8・27～8・29	育英短期大学	矢内友里
毎週土曜日 9:00～15:00	群馬医療福祉大学	岡崎鈴香

8 その他

*26年度に実施した主な改修

- ・職員駐車場の整備(10/27～10/30 工事、11/1～使用開始)
- ・テントの購入
- ・音響設備の整備 等

*理事長のご厚意により…

- ・職員駐車場に LED 防犯灯2基(1基は監視カメラ付き)を設置していただいた。(2/19)
- ・園外保育として、11/7にサンコー72カントリーへ年長児が出かけ、芝スキーやパットゴルフを楽しんだ。

*7/7の七夕には、新潟県村上市山北地区の民生委員22名が視察に来られ、長寿荘・アミカルとの交流会の様子を見ていただいた。

*10/6、台風19号通過の影響で欠席者は94名。園の対応としては、本来以上児専用のドライブスルーで使用する北口からも園児を預かり保育した。

*本園では平成2年から結成している「高崎市等広域幼年消防クラブ」が今年30周年を迎え、11/12に群馬音楽センターで行われる記念大会に年長児37名が出席した。

*12/11、前橋保護観察から3名来園。年長・年中児の子どもたちとちゅうりっぷの球根を植えたり、おやつを食べたりして過ごした。

*1/6には、高崎若鷺会の方々による新年の「出初・梯子乗り」を保護者駐車場にて披露していただき、園児や長寿荘・アミカル入居者の他に、近隣の方も楽しく観覧できた。

*2/3の節分に NHK の取材があり、一同がホールに集合し豆まきを楽しみ、その様子は夕方の「ほっとぐんま640」で放映された。

*2/17に年長の女兒が大型滑り台から落下し、右肘を骨折するけがを負った。園長・担任・主任で謝罪に出向いた。両親の要望もあり、卒園まではその子専属に保育士を付けて保育。園で掛けている「園児総合保険」にて完治まで保障される。

今後は、このような大きな事故のないよう細心の注意と保育活動を心がけたい。

*苦情処理受付状況…0件